

一級建築士免許申請書（第一面）の記入例（「学歴+実務」で申請する場合）

一級建築士免許申請書（第一面）の記入要領

第一号書式（第一条の五関係）（A4）

一級建築士免許申請書（第一面）

[記入注意] 数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。

私は、一級建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添え、申請します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

①	令和〇年 〇月 〇日					
	国土交通大臣 殿		氏名 <u>建築士郎</u>			
	中央指定登録機関 公益社団法人日本建築士会連合会					
③	ふりがな	けんちくしろう 建築士郎	生年月日	平成〇年 〇月 〇日生		
⑤	本籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇	性別	男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>		
⑦	現住所	〒×××-×××× 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 □□マンション ××号室 電話 ×××-〇〇〇-△△△△				
⑨	試験	一級建築士試験に合格した年 令和3年				
⑩	合格通知書日付	令和3年12月24日	合格番号	R03◆◆××××L号		
⑫	登録申請区分	1 学歴+実務 <input checked="" type="checkbox"/> 2 二級建築士等+実務 <input type="checkbox"/> 3 法第四条第五項 <input type="checkbox"/>				
⑬	1 学歴+実務のみ記入	学校名	学部名・学科名	入学・卒業（修了）年月	建築実務経験期間の合計	
		〇〇大学	〇〇学部 〇〇学科	H25年 4月入学 H29年 3月卒業(修了)		2年 0月
				年 月 入学 年 月 卒業(修了)		
2 二級建築士等+実務のみ記入	資格名称	都道府県名・登録番号	登録の年月日	二級建築士等としての建築実務経験期間の合計		
		号	年 月 日	年 月		
3 法第四条第五項のみ記入	免許名称	免許者名	免許の年月日	資格認定書の年月日		
			年 月 日	年 月 日		

※記入例を参考にして、黒または青色の万年筆またはボールペンを使用(インクが消せるものは使用不可)し、楷書で丁寧に記入してください。

※すべての事項をパソコンにより入力することも可です。その場合は黒字で入力してください。

① 申請年月日

申請日（提出日）を記入してください。

② 氏名

住民票上の氏名を正確に記入してください。

③ 氏名・ふりがな

住民票上の氏名を正確に記入してください。その他の申請書類に記入されている氏名と相違が無いようにしてください。住民票等に記載されている特別な字体を一般的な字体で使用している場合、または旧字体を新字体にして使用している場合は、当該使用している字体で記入することができます。(例：渡邊 → 渡辺)

④ 生年月日

生年月日を和暦と算用数字を用いて記入してください。

⑤ 本籍

住民票に記載されているとおり、都道府県から番地まで正確に記入してください。

⑥ 性別

当てはまる性別にチェック「」を記入してください。

⑦ 現住所

現住所を都道府県から番地、マンション名と部屋番号まで正確に記入してください。電話番号は、固定電話（市外局番必須）もしくは携帯電話番号を記入してください。

⑧ 写真

写真は、無帽・無背景・正面上3分身、縦45mm×横35mm（パスポートサイズ）、6か月以内に撮影されたものを用意し、裏面に申請都道府県、氏名を記入してから、糊でしっかりと貼り付けてください。被写体が暗いものや不鮮明なものは受付できません。申請者自身で印刷等を行う場合、写真専用紙以外で印刷しているものは無効となり、再提出となりますのでご注意ください。

⑨ 一級建築士試験に合格した年

合格年を記入してください。

⑩ 合格通知書日付

合格通知書に記載されている合格年月日を記入してください。

⑪ 合格番号

合格通知書に記載されている受験番号を、以下の例を参考に記入してください。

(例) 令和3年の試験に合格。その時の受験番号 2G-59999K
⇒ R032G59999K (受験番号の冒頭に「R03」を書き足す)

⑫ 登録申請区分

申請する区分にチェック「」を記入してください。

⑬ 学歴、資格、法第四条第五項に関する必要事項（名称、年月日等）の入力

学歴、資格、法第四条第五項に関する必要事項について、「⑫登録申請区分」に応じた正しい情報（名称、年月日等）を記入してください。

⑭ 建築実務経験期間の合計

申請者が必要な実務経験期間を記入してください。合格通知書に記載されている建築実務経験期間と、実務経歴書に記入した実務経験期間が相違ない事を確認し、正しく記入してください。

(第二面)

(第三面)

15

欠格事由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日	ある□	ない <input checked="" type="checkbox"/>	年 月 日
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日	ある□	ない <input checked="" type="checkbox"/>	年 月 日
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 あるときは、その日	ある□	ない <input checked="" type="checkbox"/>	年 月 日
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	ある□	ない <input checked="" type="checkbox"/>	年 月 日から 年 月 日まで
	5 精神の機能の障害により建築士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。	はい□	いいえ <input checked="" type="checkbox"/>	

※登録機関載欄

15欠格事由

欠格事由1～5のうち、該当する項目がある場合は「はい」に、ない場合は「いいえ」にチェック「✓」を記入してください。

以下の事項は、円滑な登録実施のために必要となりますので、記入についてご協力ください。

16

告示等に基づく学歴等区分 (登録申請時)	<input checked="" type="checkbox"/> 01 大学・高専（本科+専攻科）卒 60単位	<input type="checkbox"/> 02 短大（3年）卒 50単位	<input type="checkbox"/> 03 短大（2年）・高専（本科）卒 40単位	<input type="checkbox"/> 04 二級建築士
	<input type="checkbox"/> 05 大学・高専（本科+専攻科）卒 50単位	<input type="checkbox"/> 06 大学・高専（本科+専攻科）卒 40単位	<input type="checkbox"/> 07 短大（3年）卒 40単位	<input type="checkbox"/> 08 専修学校（専門課程、4年以上）卒 60単位
	<input type="checkbox"/> 09 専修学校（専門課程、3年以上）卒 50単位	<input type="checkbox"/> 10 専修学校（専門課程、2年以上）卒 40単位	<input type="checkbox"/> 11 各種学校（2年以上）卒 40単位	<input type="checkbox"/> 12 防衛大・職能開発大の総合課程・応用課程 卒 60単位
	<input type="checkbox"/> 13 防衛大・職能開発大の総合課程・応用課程 卒 50単位	<input type="checkbox"/> 14 防衛大・職能開発大の総合課程・応用課程 等 卒 40単位	<input type="checkbox"/> 15 建築設備士	<input type="checkbox"/> 16 その他（平成20年度以前の入学者等）

16 告示等に基づく学歴等区分（登録申請時）

学歴、または二級建築士（または建築設備士）等、学歴に応じた単位や資格等にチェック「✓」を記入してください。（令和2年以降の試験合格者のうち平成20年以前に大学等を入学した方は、「16 その他」にチェック「✓」を記入してください。）

※縦にしっかりと貼り付けてください。

納付書領収証書

※ここには原本を貼り付けてください。
※貼る前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

登録免許税納付書領収証書・振替払込受付証明書 貼付欄

払込受付証明書

※縦にしっかりと貼り付けてください。

申請手数料
令和2年以降の試験合格者 28,400円

上記の手数料を領収したゆうちょ銀行
又は郵便局の受付日付印のある払込受付
証明書を貼付してください。
(コピーは不可)

登録免許税60,000円を領収した金融
機関が領収日付印を押印して、納税者
に交付された領収証書を貼り付けて
ください。(コピーは不可)